



# 学校だより

佐渡市立両津吉井小学校

平成29年4月16日

<4月号>

ふるさと学を土台にした立志教育をさらに充実させます

校長 高橋 喜一郎

グラウンドの芝生が緑色に映える4月6日、新1年生を迎える入学式を行い、児童73名、教職員16名で、平成29年度をスタートしました。

今年度も、子どもたち一人一人の可能性を最大限に伸ばしていけるよう、下記のような学校経営を進めて参ります。これまで同様に、地域総がかりの教育を進められますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。



新入生の言葉

## 平成29年度の学校経営

### 【教育目標】

伸びゆく子ら

### 【重点目標】

郷土のよさを実感する子 人の役に立つことを喜べる子 言葉の力を身につける子

### 【経営理念】

- (1) 子どもが、志を立て、志を実現する力を付ける学校
- (2) 教職員が、人間としても専門家としても成長する学校
- (3) 郷土の発展に寄与し、地域の心のふるさと・誇りの象徴である学校

### 【経営戦略】

#### (1) ふるさと学(佐渡学)を土台にした立志教育

##### ① 志を立て、志を実現する力の育成

熱中・感動・達成感を味わえる様々な教育活動と憧れや尊敬と出会う場の設定により、自分自身を知り、夢や志をもてるようにします。また、志を実現する核となる「自分を律する力」「やり抜く力」を育む教育活動を充実させます。

##### ② 自分ごととしてのふるさとへの愛着と誇りの育成

立志の土台となる自分ごととしてのふるさとへの愛着と誇りを育むため、地域の方々の協働により、**伝統芸能**(鬼太鼓、能楽)、**自然環境**(よしいっ子の森、どんぐりの森等)、**ふるさと創造**(地域の課題解決への貢献)の三本柱を充実させます。

#### (2) 「信頼される人間」と「専門的力量的向上」を目指す研修による子どもの人間形成

子どもたちが、人間として総合的に成長していくには、教職員自身の人間として、専門家としての成長が必要です。「信頼される人間」を目指し、教育観・児童観を深めるとともに、人間性を磨き高めていきます。また、教職員一人一人の課題を明確にし、チームで継続して改善を進め、専門家としての力量を高めます。